

目的：八重山圏域の公共交通の観光利用の促進および活性化

- バス車内と乗船時に設置/配備したデジタルチケットのQRコード認証機を導入することでユーザーの利便性を向上させる。
- 認証機の導入により正確なODデータを取得し、移動動態の把握による観光施策立案や各事業者へのフリーパス型料金の正確な分配を行う。
- ジョルダンモバイルチケットサービスにおいて、観光コンテンツを拡充し、八重山圏域の周遊・滞在・消費等の促進、満足度向上等を図る。

事業内容：乗降認証方式の変更とODデータの活用、およびフリーパス型観光MaaSの高度化

【① CPM方式によるデジタル・チケットングの導入】

- デジタル・チケットングをMPM方式からCPM方式(認証機)へ転換する開発を実施し、全65台の端末を八重山圏域の交通事業者全7事業者へ提供し、実証実験を行った。

【② ODデータの活用】

- 認証機で取得したODデータを用いて、フリーパス型商品の各交通事業者への精算にあたり、精度の高い利用データを元に公平な料金分配への活用、およびデータ精査の工数を実運用レベルへ改善した。

【③ フリーパス型観光MaaSの高度化】

- 八重山圏域における周遊・滞在・消費等の促進、満足度向上等につなげるため、以下の石垣島の観光地を含めたフリーパス型観光MaaSのチケットを造成した。
 - 石垣やいま村、まりんはうすぐるくん(川平湾グラスボート)、カビラガーデン(川平湾土産物店)

効果

- CPM方式への移行により、ユーザビリティが向上した。またこれまで目検チェックであった交通事業者からは複数ある電子チケットを判別する手間がなくなり、負担が軽減したとの声が聞かれた。
- ODデータの正確性の向上により、MaaS参画事業者への売上分配計算の精度向上、および利用データの精査にかかる業務負担を大幅に軽減することができた。

【実施エリア】

八重山圏域の一部である沖縄県石垣市、竹富町の以下モードで本事業を実施する。
※八重山圏域＝石垣市、竹富町、与那国町

【バス】

- 石垣島：東運輸・カーリー観光 竹富島：竹富島交通 西表島：西表島交通

【船】

- 石垣島⇄離島間：八重山観光フェリー・安栄観光 西表島島内：舟浮海運

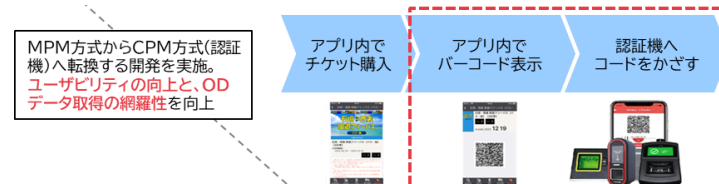


【本事業の取組の全体像】 赤枠：本事業の対象

昨年度までのチケット利用の流れ



本事業によって実現したチケット利用の流れ



【認証アプリ画面】



【実証時、チケット読み取りを行った際の様子】

